

金額を手で合計するのをやめる

最初に決める

どの台帳の、どの金額を、何の区分別に合計しますか？

作り方

- ① 各自の練習ブックを開く。元台帳を残し、別シートに区分の見出しを置く
- ② SUMIFSに、合計する金額 → 条件を探す列 → 条件のセルの順で指定する
- ③ 二範囲の先頭行・最終行をそろえ、範囲選択直後にF4で固定する
- ④ 集計シートへ戻って条件セルをクリック。縦コピー後、B4の式を見る
- ⑤ SUMで表の総計と元台帳総額を出す。差額は「表の総計 - 元台帳総額」
- ⑥ 台帳D2へ150000と入力し、反映・差額を確認。120000へ戻す（シート複製なし）
- ⑦ 最終行と金額の数式バーを見る。円などの文字があれば入力を確認する

コピー後の式（地区別集計 B4）

=SUMIFS(補助金台帳!\$D\$2:\$D\$19,
補助金台帳!\$B\$2:\$B\$19,地区別集計!A4)
B4：範囲は同じ、条件だけA4。シート名なしのA4も同じセルなら正解。

完成を確かめる | 答え合わせ後に配布

地区別：北部680,000円／南部800,000円／中央550,000円
事業別：防災1,200,000円／地域活動830,000円。両表の総額2,030,000円、差額0円
訂正後：北部710,000円、総額2,060,000円、差額0円。復元後は最初の額へ
差額0でも、範囲外の追加行・文字の金額・元記録の誤りは別に確認する
追加行があれば、SUMIFSの金額・条件の二範囲と元台帳総額のSUMを、実際の最終行まで伸ばして再検算する

止まったとき | 症状 → 見る場所 → 戻り方

全地区が同じ額	条件セルの行 → A3・A4・A5と動く式へ戻す
コピー後の範囲がずれる	B4の数式バー → 二範囲を固定してコピーし直す。額と差額が合っても式を見る
0円になる	条件セルと台帳の区分 → 該当する区分があるか確認。0円だけで故障と決めない
VALUEエラー	二範囲の大きさ → 同じ行数・列数にそろえる
差額が0円にならない	区分の漏れ・重複と式の範囲 → 元台帳と照合して直す
差額0でも金額が心配	最終行・数式バー・元記録 → 範囲外や文字の金額、入力誤りを別に見る
訂正したのに合計が減る	台帳D2の数式バー → 円付き文字なら150000と数字だけで入れ直す
訂正しても変わらない	シート名 → 補助金台帳そのものを変更。計算方法は講師に確認する

数字だけでも数値とは断定しない。気になる行は元記録と照合する。

自分の台帳に置き換える

自分の台帳	
合計したい金額列と単位	
区分に使う列	
範囲の最終行	
明日試すこと	